

がんばるバイクショップの 情報マガジン

ヤマハニュース

Yamaha News



特集●お客さまのホンネ

ココが満足・不満足

ハローナイスショップ●YOU SHOP BELL

誘店促進、鍵は「用品」

1995 No.386

10
O C T

操ること、走ることの楽しさを
すなおに味わえるバイクが、め
っきり少なくなったように思う
ラクチンで、速くて、旅にも便
利。でもそれだけじゃモノ足り
ないぞ、なあTRX!

拝見！隣のお店 このアイデア

ハローナイスショップ

YOU SHOP BELL
東京都練馬区(鈴木 治店長)

数多くのヘルメットに魅かれて店内に入ったお客さまの視点は、反転してスクーターの展示台、さらにその奥のスペースに向けられることとなる。奥の用品スペースの隣には商談スペースが設けられている



誘店促進、鍵は「用品」

本体の売り上げにつなげる用品販売術

「このあたりは二輪車販売の激戦区なんです。同じ通りだけでも競合店が3店、半径1キロ以内には6店ものバイクショップがあるんです。こんな環境の中で商売をやっていくためには、ウチならではの競争力をつけなくてはなりません。そこで……」

小売店の商売の第一歩は、お客さまに足を運んでもらうこと。そのためにはお店の認知度アップが欠かせない。そう考えた鈴木治店長は、お店の特色である、専門店並みの用品の品揃えを、商圏内の認知度アップ戦略の目玉として位置づけた。

「バイクショップというと、バイクの購入や修理などで、たまに行くところ」って感じですよ。特にうちのようなスクーター中心の店では、その傾向が強いんです。でも用品を充実させることで、もっと気軽に来店してもらえないかと考えまして……。例え



お店は1階のショールームスペースと、中2階の受付カウンターとに分かれる。1階、中2階、そしてこの階段脇も、壁という壁にはさまざまな用品が陳列されている

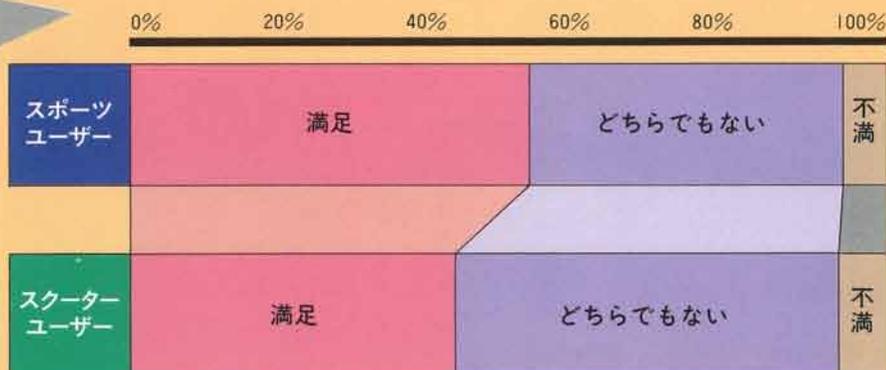


特集 ● お客様のホンネ



ココが満足。

■バイクショップに対する満足度



「満足」のうち大変満足という答は、スポーツユーザーで15.1%、スクーターユーザーで9.2%

バイクショップに限らず、すべての販売業にとって『顧客満足度の向上』はもっとも大きな命題のひとつだ。より愛される、信頼されるショップであるために、今何をすればいいのか？ いろいろなアイディアに頭を悩まし、試行錯誤を重ねているお店も多いことと思うが、ただヤミクモに動いても有効な解決策は見つからない。

そこで今回は、一度原点に立ち戻り、お客さまが店の現状をどう感じているのか、最新のアンケートからナマの声を探ってみた。具体的な方策を生み出すためのヒントとしてご活用いただきたい。



不満足



満足のカゲにも 不満のタネあり

お客さまが、今付き合っているお店を全体的にどう思っているか？ それが「総合満足度」だ。ここでの満足度が高いほど「再購入」「友人・知人への紹介」が増すことは、今回の調査データでも裏付けられている。「満足」の比率を高め、あるいは「満足」の密度を上げる努力が大切だといえよう。まずは、どういうお客さまどのくらい満足しているか、それぞれ自店の特性に当てはめて考えていただきたい。

総合満足度編

『満足』と答えた人の内分けは……

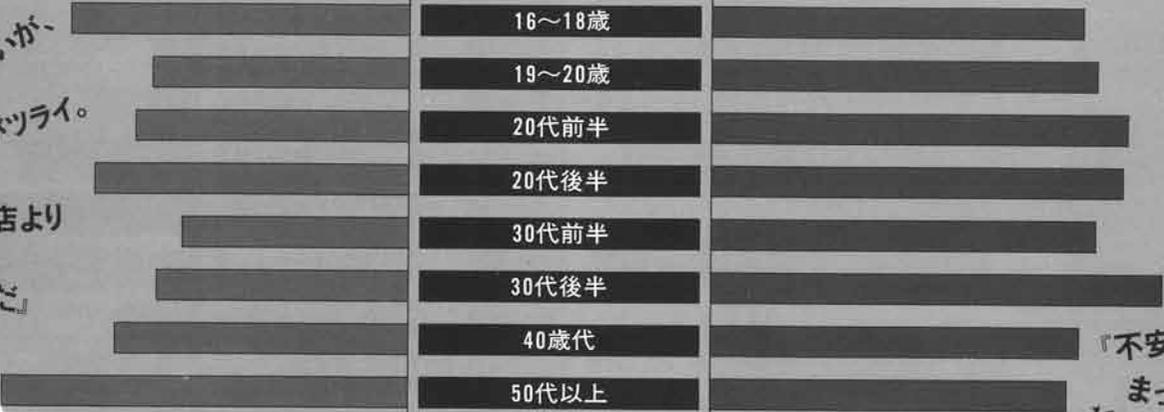
スクーター

スポーツ

50(%) 満足度 0 性別 0 満足度 50(%)



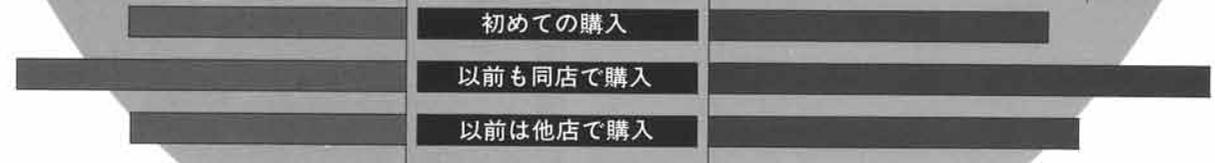
50(%) 満足度 0 年齢別 0 満足度 50(%)



『特に不満はないが、家から遠いのがツライ。でも近くの店より数倍親切だ』

『不安、不満はまったくなし。100%任せられる』

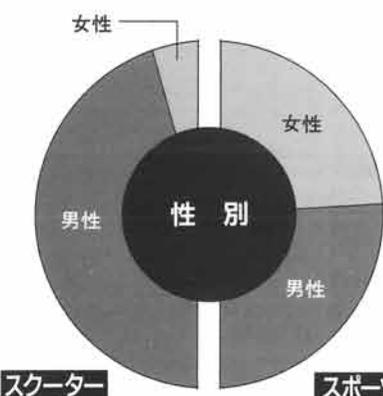
50(%) 満足度 0 購入経験の有無 0 満足度 50(%)



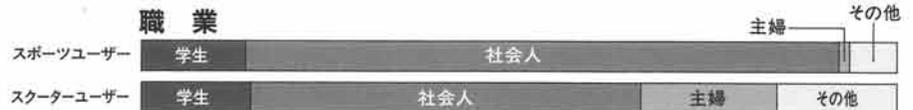
『最近修理に出したが、1円もまけてくれなかった。2台目も買って、長年付き合っているのに！アタマにきた！』

※『』はお客さまの声

今回のデータは、ヤマハが今年5月から7月にかけて全国の二輪ユーザー約15,000名を対象に行なったアンケートの結果を再構成したものである。
回答者の主なプロフィールは次のとおり。



職業



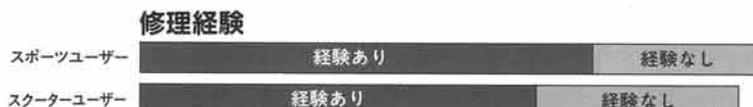
年齢



年齢



修理経験



レースや遊びの情報、プレゼントの提供が満足度を左右する

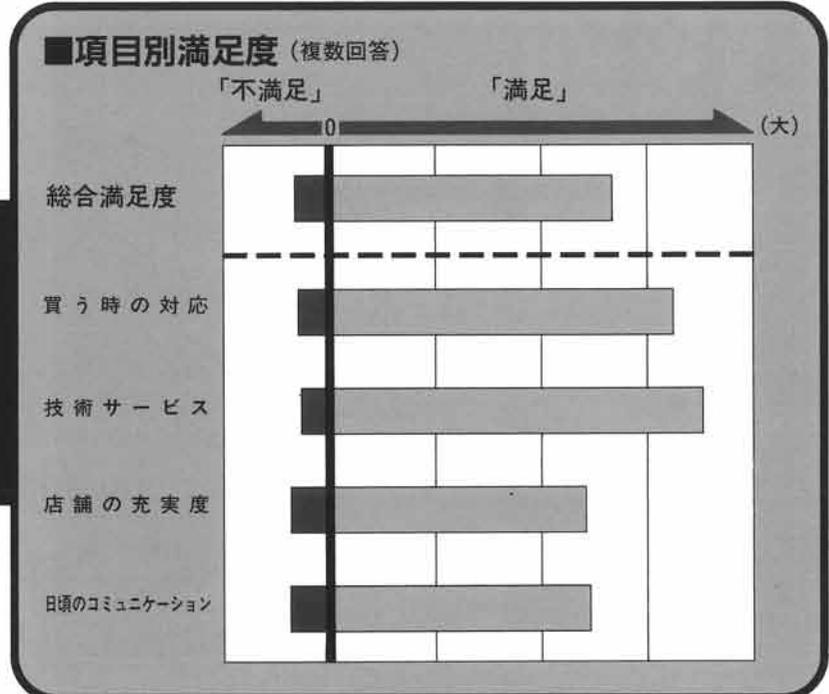
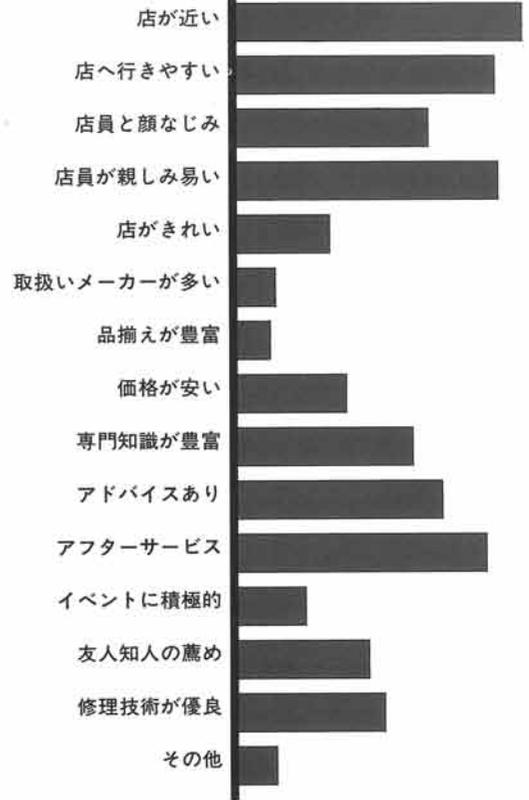
店を選ぶにあたって、「自宅に近い」ことに加えさらに「アフターサービスの良さ」「店員の親しみやすさ」といったところがポイントになっている。

そうしたなか、実際にどれだけ満足しているかを、「買う時の対応」「技術サービス」「店舗の充実度」「日頃のコミュニケーション」の4項目に分けて調べた。この結果、満足度が高かったのは買う時の対応と技術サービスで、店舗の充実、日頃のコミュニケーションはやや満足度に欠ける傾向が表れている。

そうしたなか、実際にどれだけ満足しているかを、「買う時の対応」「技術サービス」「店舗の充実度」「日頃のコミュニケーション」の4項目に分けて調べた。この結果、満足度が高かったのは買う時の対応と技術サービスで、店舗の充実、日頃のコミュニケーションはやや満足度に欠ける傾向が表れている。

スポーツユーザー編

■店の選択理由 (複数回答)



特集 ● お客さまのホンネ

※「」内はお客さまの声

■技術サービス

『昨年事故を起こして困っていた時、いろいろ面倒を見てもらった。感謝している』

(大) 満足度



『メンテナンスにかかった費用と内容を正確に教えてほしい。請求額が高くて納得がいかない』

スポーツユーザーにもっとも高い満足感を与えているのが、メンテナンス。各項目の評価もおしなべて高い。しかしその一方で、受け取り方の違いなのか批判的な声がないわけではない。スクーターに比べて点検・修理での来店が多い分、その善し悪しに敏感なので、少しでも手を抜いたり雑に見えたりすると大きなイメージダウンにつながる。「両刃の剣」だと認識したい。

■日頃のコミュニケーション

『週に2〜3回立ち寄るが、そのためかDMなど1度ももらったことがない。年に1度くらいはもらいたい』

(大) 満足度



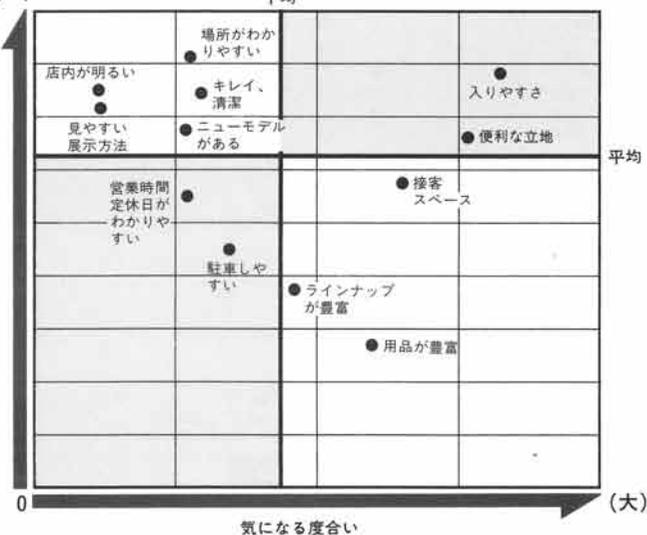
『メンテナンスに関する情報やイベントの情報が欲しい』

日ごろお店と付き合ううえで「商品知識の豊富さ」や「店員の親しみやすさ」「メンテナンスのアドバイスがある」などについて満足度が高い。特に「店員」と「アドバイス」はよく気になる点とされるだけに重要。逆に「点検DM」と「プレゼントの提供」はどちらも満足ポイントが低い。とりわけ若者の多いスポーツユーザーには、プレゼント作戦が満足度向上に有効かも……。

■店舗の充実度

『駐車スペースがないので歩道に停めているが、どうも見苦しい』

(大) 満足度



『店舗改装中だが、完成したらもっとバイクや用品の品揃えが充実すると期待してる』

スポーツユーザーが不満を強く感じる『関連用品の品揃え』。つまり、アパレルや部品・用品が少ないことが大きなマイナス要素となっている。「接客スペース」については、一方で「常連客が溜まっていると入りにくい」という指摘もあり、意見が分かれるところ。また、敷地の問題でいかんともしがたい面はあろうが周辺地域への配慮を含め「駐車スペース」にも気を使いたい。

■買う時の対応

『ドレスアップパーツや用品の説明もしてほしい』

(大) 満足度



『お店に行ったら、誰も出てきてくれなくてしばらくボートと待たされた』

スポーツ車にとって大切と思える「試乗車の利用」は、お客さんの要望をほとんど満たしていない。試乗が必要な車種の選定を、改めて考えるべきか。一方、買うが買わないか、商談の結末に関わる時だけに、接客姿勢は誰もが丁寧で親切。いわば当然のことなので、「保証サービスの説明」「関連用品情報の提供」など、細かな気配りでアピールしたい。

特集 ● お客さまのホンネ

※「」内はお客さまの声

■技術サービス

『修理が終わってから金額を言われて、予想以上に高くて驚きました』



『専門用語ばかりで、話している内容がわからない。結局、何を直したのかわからないままお金だけ支払った』

信頼を高め、満足度を向上する要因は、大きく分けて「料金」と「技術」。料金に関しての要望では、「高い」という意見と「不明瞭」に分けられる。また「点検・修理が正確」であることが高い評価につながるが、逆に再修理が発生した場合、大きなダメージに直結しそうだ。

■日頃のコミュニケーション

『電話ひとつでスグに来てくれます。この安心感は何物にも代えられません』

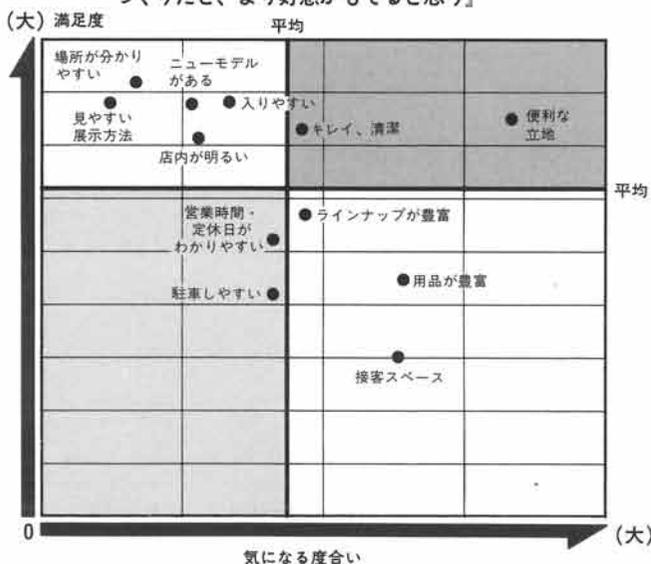


『DMは来るが、後は電話も訪問もない。適当にあしらわれているようで、店の姿勢に疑問が残る』

一番の問題点は「DMなどを使っての情報提供」が少ないこと。来店機会が少ないスクーターユーザーだけに、DMや電話でのコミュニケーションがより重要になるのは当然。また、商品知識が薄いスクーターユーザーには「相談に快く応じてくれる」という最も基本的な接客が、満足度を高めるポイントとなりそうだ。

■店舗の充実度

『店舗が狭くて商品が見にくい。もう少し広くてきれいなつくりだと、より好感がもてると思う』



『駐車場がないため、クルマで出かけた時に困ったことがある』

すぐに改善できるポイントとしては、「営業時間や定休日をわかりやすくする」や「見やすい展示」などが挙げられる。また「関連用品の品揃え」や「接客スペースの確保」も重要なポイントではあるが、基本はやはり「きれいな店舗」ということだろう。敷地、店舗の規模に関係なく実践できることなのだから……。

■買う時の対応

『初めてのスクーターだったので、ご主人が乗り方の指導をしてくれました。やはり嬉しいものです』



『保証内容などの説明が不十分。こちらからは聞きにくい雰囲気もある』

購入時の対応は、お店の評価にダイレクトにつながる項目。ここで信頼を失うと、取り戻すには大変な労力が必要となる。とりわけ「質問に的確に答えてくれた」という基本的な対応が重要視されている。また「保険や定期点検など「保証サービスの説明」や納車説明も関心が高く、その重要性がうかがえる。

永井康友選手安らかに

すでに新聞等で報道されましたように、ヤマハファクトリーチームのライダー、永井康友選手が、去る9月10日、オランダで開催されたスーパーバイク世界選手権・第10戦の決勝レース中に転倒負傷。現地の病院にて治療を受けていましたが、現地時間12日午後9時40分(日本時間13日午前4時40分)、脳内出血のため永眠しました。

永井選手は自ら開発したロードレーサーYZF750で今年から世界選手権にフル参戦。第9戦SUGO大会では、2ヒート連続表彰台と活躍し、残るシリーズ戦への期待が高まっていました。

この突然の悲報は、ご家族、ご友人、モータースポーツファン、関係者にとって痛恨事以外の何ものでもありません。

ここに同選手の死を悼み、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。
享年29歳

台掌



'94年9月17日～18日、第58回ボルドール24時間耐久レースで念願の海外レース初参戦。見事、優勝を果たした



絶妙のステッブワークと、ひじを伸ばしてタンクを抱きかかえるようなフォームでクルリと旋回する独特の走りは、ズバ抜けた速さというよりも、粘り強さに、その魅力がありました。

走りが鮮やかな光を放ち始めたのは、'87年、'88年のノービス、ジュニア時代。'88年のSUGOで開かれたTTフォーミュラ世界選手権では、併催のジュニアF3クラス



1987

20歳、'86年からレースを始め、翌'87年からは実力が開花。TT-F1世界選手権SUGO大会の併催レースとして行われたノービスF3で優勝を果たしたほか、この年、筑波選手権のN-F3とSP400の2クラス制覇を達成



1988

ジュニアクラスに昇格した'88年はJ-F3、J-250にダブルエントリー。250はチャンピオンを獲得、F3ではシーズン前半をTZRで、後半をFZRで戦いランキング3位を獲得



1989

国際A級昇格と同時にヤマハワークス入りを果たし、TT-F1クラスに出場。参戦3戦目の筑波で初の2位表彰台を獲得するなどの活躍で、A級1年目にしてランキング3位の実力を見せた



1990 多くの外人ライダーが参戦して、全日本が一層激戦化するなかで、何度も首位争いを展開



1991

国際A級3年目で、ついに初優勝を成し遂げた。安定感を身につけたこの年は、着実なポイントゲットでランキング2位を獲得した



1994 6度目の8耐参戦で、自らが目標にしてきたE・ローソン選手とペアを組む。4位獲得でYZF開発ライダーとしての意地を見せた



1995

今年から世界選手権を戦い、「のびのびとレースができています」と語った永井選手は、第9戦・SUGOでは日本のファンの前で気力あふれる走りを披露。ひとまわり大きく成長して帰ってきた



1993

好敵手、柳川明、武石伸也、北川圭一との激戦を最終ラップの逆転劇で制した第8戦・富士大会。この年は鈴鹿200kmの2年連続優勝を含む通算4勝を挙げ、ランキング3位を獲得した。



「アッセンは初めてだけど、ビデオで見ることが好きみのコースなので頑張ります。次週のポルドールもV2を狙いますよ...」アッセンへの出発を数日後に控えた金曜日夜の電話の声。受話器のリダイヤルボタンで、もう一度つながりそうな気がします。永井選手、感動をありがとう。さようなら。

そして今年'95年、SUGOでのスーパーバイク世界選手権。最終ラップのシケインでの果敢な走りっぷりは、結果こそ3位になっただけでしたが、'86年の平ノローソンの名勝負以来9年ぶりの名場面として、今後も語り続けられるでしょう。「アッセンは初めてだけど、ビデオで見ることが好きみのコースなので頑張ります。次週のポルドールもV2を狙いますよ...」アッセンへの出発を数日後に控えた金曜日夜の電話の声。受話器のリダイヤルボタンで、もう一度つながりそうな気がします。永井選手、感動をありがとう。さようなら。

独走の優勝、逆転のウイン。しかし、時にはトップを走りながら最終周にオーバーランして涙をのんだことも。'90年の鈴鹿200kmだったでしょうか。先行するRVFのD・ピーティをギリギリと追い詰めたが、最終周で微笑みかけていた勝利の女神にふられてしまったことも。でも、その力強い走りは、いつも輝いて見えました。'94年にはC・サロン、D・サロンと組んだの、ポルドール24時間耐久レースの日本人初の優勝。72年の伝統をもつポルドールの歴史を、667ラップの大会記録で塗り替える快挙でした。

'89年、国際A級昇格と同時にヤマハワークス入りに加わり、全日本開幕3戦目の筑波では日本人最上位、D・ポールの次に2位表彰台を獲得。ルーキーながらも全日本を牽引する実力を証明してくれました。

で、名門「SP忠男RT」のFZR400を駆り、終盤の大逆転劇で優勝。次代の4サイクル市販車ベースのレースを担う彗星として、その存在を世界にアピールすることになりました。

PIT IN

from SALES

『マジエステイ』の魅力を
たっぷり詰め込んだVTRカタログ
店頭でもぜひご利用ください

いよいよ市場に登場した話題の250cc
スクーター『マジエステイ』。その機能のす
べてを、お客さまによりわかりやすく伝え
るVTRカタログができました。

走行シーンを中心に、市街地での取り回
し、収納スペース、高速道路でのエンジン
パワー、ワインディングでの足回りなどを
解説。さらには、元GPライダー平忠彦氏
の試乗インプレッションも入っています。
新規購入を考えているお客さまから代替
えの方まで、どなたにもマジエステイの魅
力がしっかりご理解いただける内容ですの
で、購入を誘うアプローチ用に、あるいは
最後のキメテとしても効果的です。

接客スペースで放映したり、お客さまに
貸し出ししたり、状況に合わせてご利用く
ださい。
詳しくは、担当のヤマハセールスマンまで。



『マジエステイ』VTRカタログ VHS/10分

from Y.E.S.S. 大人気のオーストラリアツアーリング サマーシーズンの出発日が決定!

Y.E.S.S. 発足10周年の記念ツアーとし
て、今春からスタートした『Y.E.S.S. 地球
見聞隊アドベンチャーツアー・オーストラ
リア』。過去7回の出発(オンロード/オフ

オンロードコース 7日間

使用予定バイク: XJ900, XJ600, 他
※250ccも用意しています。
■出発日/料金
(10周年スペシャルプライス)
10月15日... ¥305,000
12月3日... ¥295,000
12月25日... ¥330,000
1月1日... ¥340,000
※12月以降は予備

日次	行程
1	18:00成田集合 直行便でプリズベンへ
2	プリズベンにてミーティング後、ツーリングに出発。エスコを 抜けてペンヤマウンテンへ 285km
3	ペンヤマウンテンを出発し、トゥーンバにて昼食。午後は一 路スタンゾブを目指します。 275km
4	ワインディングロードを走り、コバルトブルーの海へ。サーファ ーズパラダイス2日目のゴールです。 365km
5	ゴールドコーストに滞在し、ビーチホリデーをお楽しみくださ い。希望によりツーリングも可能です。 300km
6	ツアーのハイライト、熱帯雨林を抜けて、プリズベンに戻る ルートです。午後はフリータイム 211km
7	プリズベンから成田へ

オフロードコース 7日間

使用予定バイク: TT250R, セロー225
■出発日/料金
(10周年スペシャルプライス)
10月19日... ¥295,000
12月3日... ¥290,000
12月25日... ¥325,000
1月1日... ¥335,000
※12月以降は予備

日次	行程
1	18:00成田集合 直行便でプリズベンへ
2	プリズベンにてミーティング後、ツーリング出発。後はヤマ ラックでキャンプです。 195km
3	ダート区間が245km続くオフロード天国を走破します。美しい 海を過ぎてコーガンへ。 373km
4	バラナバー湖を目指して200kmのハイスピードダートを堪能。 湖畔のキャンプをお楽しみください。 400km
5	オーストラリアでは珍しい山岳のコースで林道ツーリング。 屋根を抜けるとサンシャインコーストに出ます。 220km
6	森林エンデュロコースにエントリー。変化に富んだオー プンエリアが楽しめます。走った後は乗馬に挑戦。 110km
7	プリズベンから成田へ

ロード合計)ではすべてのツアーが満席に
なるなど、変化に富んだコース設定と他に
例を見ない安い料金設定が人気を集めてい
ます。
南半球に位置するオーストラリアでは、
これらが春・夏のハイシーズン。いまま
で以上にたくさんの申し込みが予想される
中、10月から来年1月の出発日および料金
体系が決定しました。今回もY.E.S.S.本部

from AD

10月のヤマハ提供番組

■'95世界グランプリロードレース
500ccから125ccクラスにわたる、
ヤマハレーシングチームの活躍に今期待く
ださい。
放映: T・X・N系列6局ネット・毎週日曜日
24時30分~25時25分。テレビ静岡・毎週月
曜日24時50分~25時44分。
■オリジナルコンサート
私たちの創った世界
放映: テレビ朝日系列全国ネット・毎週日
曜日7時30分~8時00分
■(ラジオ) ぼっくん王国
ミュージックスタジオAM
放映: ニッポン放送ほか16局ネット
提供日: 毎週月曜日、火曜日

from SERVICE

'95ヤマハ整備士コンテスト 地区大会が全国29会場で開催中!

事務局がレンタル車両代を負担することで、
幅広いバイクファンに参加いただける料金
設定となっております。
平忠彦氏のプロデュースによるコースレ



イアウトで、「オーストラリアのなかで最も
オーストラリアらしい部分を楽しめる」(平
氏)本ツアーを、たくさんのお客さまにこ
案内ください。

■'95ヤマハ整備士コンテスト 地区大会日程(10月分)

10月	3日	4日	5日	7日
	松山・徳島 高知・高松	大阪・長崎 名古屋	仙台・盛岡 北陸	大分

お店のサービスマンが、お互いに腕を競
い合い高め合う、「95ヤマハ整備士コンテス
ト」。今年は11月8日に静岡県・つま恋で全
国大会を開催しますが、それに先だって、
9月6日の鹿児島会場を皮切りに各営業所
29会場で開催中です。
クラスはベシックとマスター。ヤマハ
のY.T.S資格を取得したサービスマンなら
どなたでも参加いただけます。
みなさんの実力を測る意味でも、ぜひ多
くの方のご参加をおすすめください。

■ヤマハ二輪車整備士講習会

	10月		11月	
北海道				
東北			B	
東京	B	M 18~20	B	M 28~30
中部	D 4~6		B	
関西			B	
中国			B	
四国			B	
九州			B	M 20~22

B/ベシック M/マスター 4/サブマスター
D/ドクター ※都合により開催変更および中止
となる場合があります。日程のないものは各ヤマハ営業
所へお問い合わせください。

お申込・お問合せ先: Y.E.S.S. オーストラリアツアー専用ダイヤル
03-5488-0027

北海道のファンとともに過ごした 平忠彦さんの多忙な3日間

5年ぶりの8耐参戦で、見事完走を果たした平忠彦さん。久しぶりにレース界復帰を遂げたこの夏は、ファンに囲まれての多忙な日々を送っていました。

まず8耐の翌週は、Y.S.P名古屋北さんの主催によるツーリングイベントに参加。一般のお客さまとともに名古屋〜長野のツーリングを楽しむと、明けて8月11日から北海道に飛び、分刻みでファンサービスに努めていました。

北海道で待っていたのは、札幌の新名所として観光客や買い物客でにぎわう、札幌ファクトリーでのトークショー。平さん目当てで詰めかけたたくさんのファンの前で、8耐を振り返りながら楽しいトークを披露しました。またこの会場には地元ラジオ局、FMノースウェーブも駆けつけ、急ぎよ人気番組の「フライデー・チキンスープ」にゲスト出演。電波を通して、北海道を旅するツーリングライダーに平さんからのメッセージが送られました。

さらにこの夜は、札幌エリアのY.E.S.S.会員が集まり、平さんを囲んでのディナーパーティーを開催。この会場ではチャリティオークションも行われ、8耐で使用したレーシングブーツが出品されるなど、ファンにとっては忘れられない一夜となりました。



札幌新名所「札幌ファクトリー」で行われたトークショー。たくさんのファンが訪れた。

また翌朝はゆっくり休む間もなく、札幌のファンとともに富良野までのツーリングを楽しむ、到着した「Y.E.S.S.オアシス」富良野'95の会場でもトークショー&サイン会と、文字通り休む間もないスケジュールをこなしていた。

「現役を引退しても、こうして皆さんのファンが応援してくれるのありがたいこと。今後は一層ファンのみなさんとの交流に努めたい」とは本人の弁。平さんの忙しい日々はまだまだ続きそうです。



Y. E. S. S. 会員対象のディナーショーでは、衰えぬ人気の高さがうかがえた。



FMノースウェーブにもゲストとして出演

飛んでびつくりノ8764m 第19回鳥人間コンテストで 『極楽とんぼB』が総合優勝

人間の力で大空を飛び、技術とパワーの限界に挑戦する恒例「鳥人間コンテスト」が、19回目の今年も7月29日、琵琶湖松原水泳場で開催されました。

そのなかで、強豪のひとつに数えられるヤマハ「チーム・エアロセプシー」は、人カポレバ機部門に「極楽とんぼB」を投入。'92年に続く総合優勝を狙います。

絶好のフライト日和に恵まれた当日、11番目に登場した「極楽とんぼB」は、まず最初の関門である離陸を完璧な状態でクリア。その後も、力強く安定したペースで約35分間にわたるロングフライトを見せ、従来の大会記録4倍近くも上回る8764mというレコードで優勝しました。

テストどおりに行けば30分は飛べる自信があった。琵琶湖の猛暑やクセのある風などに苦戦したが、計算どおりのフライトが

できてうれしい」とパイロットの中山浩則さん。

この2年間、結果が出せずにくやしさを覚えたが、「やっとみんなの約束を果たせた」と喜びを語っていました。

ダントツの飛距離で優勝した「極楽とんぼB」。2位には6411mのトヨタ、3位には日本大学がつけた。

『コギト』も人カポレバ4連覇！ '95浜名湖ソーラー&人カポレバレース

琵琶湖で「極楽とんぼB」が大記録で優勝を飾った日、浜名湖競艇場では「'95浜名湖ソーラー&人カポレバレース大会」が行われ、人カポレバ部門に出場したヤマハの「コギト」チームが大活躍。

200mスピードレースとコース1周レ

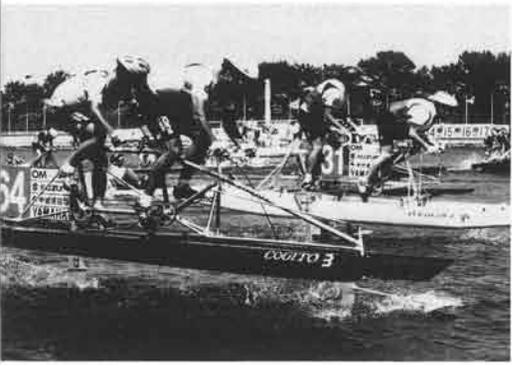
ース(約1000m)に「COGITTO III」で出場し、両種目優勝の総合4連覇を果たしました。

さらに、「COGITTO III」が200m予選で出した26秒39のタイムは日本新記録にも認定され、優勝に花を添えています。

また、同じヤマハながら毎回「コギト」のライバルとなる強豪「中之郷RC」も、「Phoenix」ですばらしい走りを見せ、総合2位を獲得。

これで、ヤマハは人カポレバ部門1〜2も達成しています。

全国から人カポレバ45隻が参加した今大会も、「COGITTO III」は優れた艇性能と驚異的なマンパワーで他を寄せつけなかった。



高橋唯美のオリジナル リトグラフを限定販売

「船」「クルージングワールド」やアメリカの「SALE」など、マリンスポーツ雑誌を中心に「高橋唯美」のイラストレーター高橋唯美氏。精緻で、しかし暖みにあふれたタッチと色使いは、数多くのファンを魅了してやみません。

その高橋氏が、50枚限定でオリジナル作品をリトグラフにしました。

「YAMAHA YDS-1」「New England Cat Boat」

お店のショールームやプライベートルームのインテリアにいかがですか？

お申し込みは、フリーダイヤル0120-808-1211(休日受付9時〜19時)へお電話ください。11月30日、あるいは限定数になり次第受け付けを終了させていただきます。また、お支払いはクレジットカードでの一括払いとなります。

- タダミ・コレクション
- 「YAMAHA YDS-1」
商品番号：GH-20070 ￥21,500
- 「New England Cat Boat」
商品番号：GH-20071 ￥21,500



サイズ：絵の部分210×297mm
印刷：オフセット・リトグラフ印刷
装丁：表紙枠付き(額は含みません)
限定数：50枚・作者サイン入



WGP RR

**カダローラ、チェコでついに初優勝！
原田もランキング2位に返り咲き**

8月20日にチェコのブルノで行なわれたロードレース世界選手権第10戦で、500ccクラスのL・カダローラが今季初優勝を成し遂げました。

予選から好調な走りを見せたカダローラは、今季初のポールポジションを獲得。決勝でも、スタートこそ出遅れましたが着実に追い上げ、中盤の14周目にM・ドゥーハン（ホンダ）を捉えてついにトップに浮上します。



ついに今季初優勝を果たしたカダローラ。「チームスタッフの努力に感謝している」とコメントを残した

その後、ファステストラップを記録するなど力強い走りです。徐々にアドバンテージを広げたカダローラは、2位以下を4秒以上引き離す独走でチェッカーを受けました。

この結果、タイトルポイントも135まで伸ばしたカダローラは、現在ランキング3位。36ポイント差で2位のD・ビエティ（スズキ）を追っています。

一方、250ccクラスでは、原田哲也が2位を獲得してランキング2位をキープしています。ポールポジションから飛び出したM・ピアッツ（アプリリア）と、これを追う原田は、序盤から激しいトップ争いを展開。8周目にはついにピアッツを捉えて首位に立ちますが、11周目に再び抜き返されてしまいます。その後はピアッツのテールにびったりとつけてチャンスをうかがっていましたが、わずかに届かず、コンマ1秒差で2位に留まりました。この段階でランキングトップのピアッツとの差は44ポイント。決して楽な戦いではありませんが、ふたりのタイトル争いの行方には最後まで注目したいところです。

WGP MX

**モトクロス世界選手権シリーズ終了
250でバルトリニが7位
125はキオーデイが2位を獲得**

3月26日にスペインで開幕したモトクロス世界選手権は、250ccが9月3日の第15戦フランスGPで、125ccが8月13日の第12戦ドイツGPで長きに渡ったシリーズを終了しました。

そのなかで、250ccに参戦したA・バルトリニとB・ムーアがそれぞれランキング7位、8位を獲得。Y・デマリアも12位に入りました。

バルトリニは優勝1回、2位6回などを含めトータル251ポイントを獲得。最終戦でも今季3度目の総合優勝を果たし、

有終の美を飾っています。

一方のムーアは、怪我のためいくつかのレース欠場を余儀なくされたものの、優勝3回を含めトータル219ポイントを獲得。また、第4戦で右足を骨折したデマリアはシーズンのほとんどを棒に振る結果となりましたが、第14戦・日本GPで復活。見事優勝を飾りました。

なお、チャンピオンは8勝をマークしたS・エバーツ（カワサキ）が獲得しました。125ccクラスでは、A・キオーデイが第12戦を終えてランキングトップに立つ快

WSB

**永井の激走に湧いたSUGO大会
3位/2位表彰台獲得！**

8月27日、スーパーバイク世界選手権の日本ラウンド・第9戦「SUGOスーパーバイク」が宮城県のスポートランドSUGOで行なわれました。

シーズン途中、4気筒/2気筒マシンの最低重量の差が15kgから5kgに縮小されたことで、より緊迫したレースが期待されるなか、初の母国凱旋に意欲を燃やす永井康友が大活躍。第1ヒート3位、第2ヒート



「たった半年でも、世界を戦って自信がついた」と語る永井は、力強い走りで見事な勝利を挙げた

進撃。しかし、最終戦で1位/2位の総合優勝を果たしたA・プザール（ホンダ）に逆転され、わずか3ポイント差のランキング2位となりました。



全15戦を終了し、イタリアのA・プザールはランキング7位を獲得

2位と今季最高の成績を挙げて、詰めかけたファンを湧かせました。

まず第1ヒート、永井はフロントロウから好スタートを切り、5周目までトップを快走。その後、ランキングトップのC・フオガティ（ドゥカティ）に先行を許しますが、フオガティは直後の第2コーナーで転倒。そのままリタイアとなります。

これで再び永井がトップに立つと、今度はT・コルサー（ドゥカティ）とA・スライト（ホンダ）が迫り、3台でトップ争いを展開。決着はラストラップの最終シケインまでもつれ込み、永井はスライトのインを衝いて勝負に出ますが、痛恨のオーバーラン。惜しくも3位となりました。

続く第2ヒートは、2周目にトップを奪ったフオガティが独走。永井もこれを懸命

全日本 RR

**TZ125、1-2フィニッシュ
宇井がランキングトップ快走中**

全日本ロードレース選手権第6戦・MINE大会が8月20日に開催され、125ccクラスでヤマハTZを駆る宇井陽一と中野真矢が1-2フィニッシュを決めました。

この結果、宇井はシリーズポイントも103まで伸ばし、ランキングトップをキープ。中野も16位から11位までジャンプアップしています。

レースは、予選5位の中野が好スタートを決めてオープニングラップをリード。しかし、2周目にポールシッターの宇井がトップを奪うと、そのまま徐々にリードを拡大。中野も、宇井にかわされたあとと大崎誠之（ホンダ）と2位争いを展開。独走でゴールした宇井に続き、2位のままチェッカーを受けました。

また、スーパーバイククラスはウェットからドライへと路面コンディションが急変するなかで行なわれ、藤原康彦6位、吉川

に追いましたが、ついに届かず単独2位でチェッカーを受けました。

しかし、9月10日のオランダ大会、突然のアクシデントで永井が急逝。「ヤマハワールドスーパーバイクチーム」は、その追悼のため残るレースへの参戦を中止しました。

MFJグランプリで500ccクラスが復活！

現在、国内では鈴鹿のWGP以外で観ることのできなかったGP500ccのレースが、10月22日、スポーツランドSUGOで開催の「'95全日本ロードレース・MFJグランプリ TBCビッグロードレース」として帰ってきます。

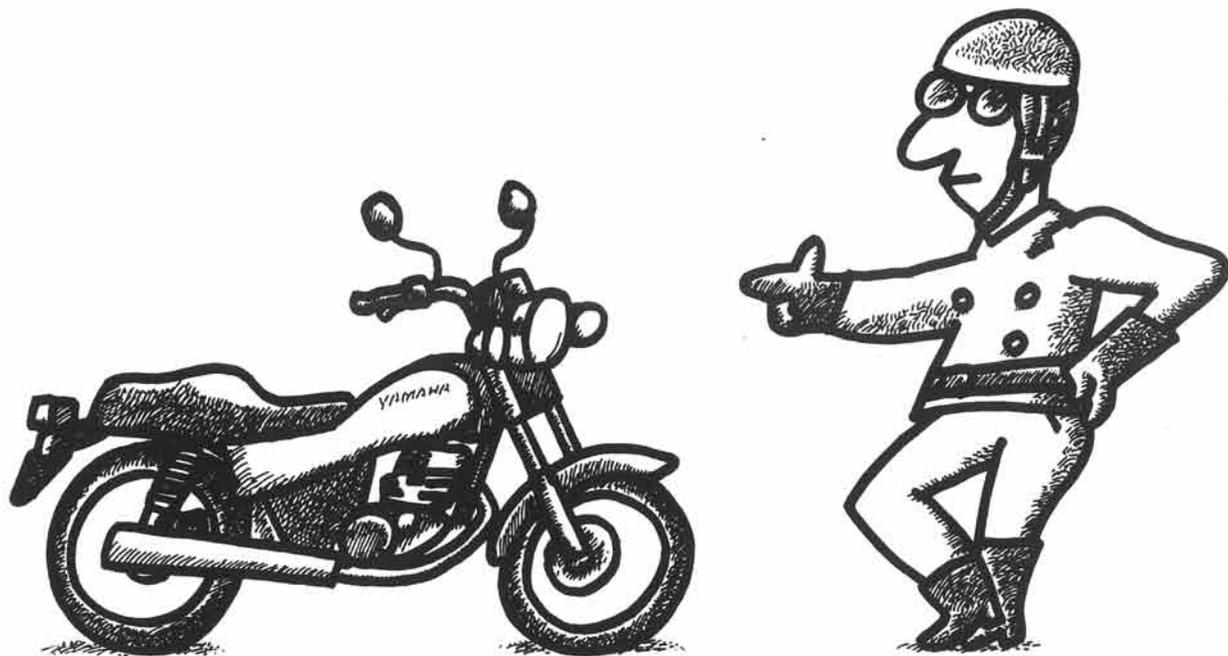
主な参加ライダーは次のとおり。ぜひ観戦にご来場ください。

- MFJ-GP「500cc」参加ライダー
阿部典史、S・ラッセル、本間利彦、伊藤真一、岡田忠之ほか。



今季3度目の優勝を挙げた宇井（左）と全日本選手権初の表彰台を獲得した中野

和多留が7位を獲得。ランキングではそれぞれ2位と5位につけています。さらに250ccクラスでも、ヤマハ勢は芳賀健輔が4位、難波恭司が5位と健闘。それぞれランキング4位と3位の好位置で残り4戦に臨みます。終盤戦の活躍に期待ください。



今月のテーマ

ファッション派ライダー

みなさんは「なんちゃってアンナ」というコトバをご存じですか？これは若い女性に人気のファッションリーダー、モデルの梅宮アンナさんを真似した（模範とした）女性ファッションを指す流行語です。この他にも、いわゆるブランド品の類似品や模造品に対して、頭に「なんちゃって」をつけることで、なんちゃってシヤネル、なんちゃってロレックス……などと使われているようです。

さて、「なんちゃってアンナ」の代表的なファッションといえば、カチュウシヤの代わりに頭にサングラスを乗せたあのスタイル。多かれ少なかれ、みなさんも街の中で見かけたことがあるでしょう。もともとは、アンナさんがサングラスを頭に乗せた姿でファッション誌に登場したのが始まりとされていますが、いまでは男女関係なく、ごくフツーのファッションとして受け入れられています。

日経流通新聞によれば、「今シーズンのサングラスの売り上げは昨年度の4割増し」（伊勢丹新宿本店）という声も聞かれ、また選び方も「かけて似合うものではなく、頭に乗せて似合うデザインが売れ筋」（同）になっているそうです。また使われ方の変化によって、季節商品だったはずのサングラスが、シーズンを通して売れる商品に変わりました。

話は変わりますが、いま二輪業界でもクラシックスタイルのゴーグルが売られています。オワン型のヘルメットと合わせることで「なんちゃって60年代のレーシングライダー」と言ったところでしょうか。また、それに呼応するように、SRを始めとするテイステイモデルの人氣がここ数年で加速度的に高まってきています。SRなどをベースとして、よりクラシカルな雰囲気を出すカスタムがたいへんな人氣を呼んでいます。

ここでひとつの疑問が湧いてきます。このようなファッション派のライダーは、人氣のストリートファッションに近いテイストを持つ「ゴーグル&オワン」をかぶるため、それに見合ったバイクを選んでいるのか、それとも反対に、クラシカルなバイクにカッコよく乗るためにファッションを合わせているのか？ ということです。

タマゴが先か、ニワトリが先か？ ゴーグルが先か、SRが先か？ もしかしたらどちらの答も正解なのかもしれませんが、性能至上主義の対極にいる彼らのこと、ファッションに合わせたバイクを選んでいても不思議ではありません。決して少数派ではなくなつたファッション派ライダー。みなさんほどのように分析していますか？



AWE SERIES
RY-351 AWEブルゾン
 ¥25,800

AWEシリーズ待望の透湿防水ブルゾン誕生

- 素 材●【表地】ナイロンツイル PUラミネート
 (透湿防水・ナイロン100%)
 【中綿】ポリエステル100%
 【裏地】トリコット起毛(ポリエステル100%)
- カラー●レッド、ジェットブラック、パープルネイビー、シルバー
 サイズ●W、M、L、X、3
- "呼吸する防水・防寒服"の名に相応しいAWEシリーズ待望の透湿防水ブルゾン。ムレにくく、ソフトな着心地が特徴です。特殊カッティングを用いることにより首へのフィット感を高めるとともに、保温性を確保する着脱式ネックウォーマーを採用するなど、ウィンターシーズンのライディングに適した機能を備えています。
- 【その他の特徴】
- 水や冷気の侵入を防ぐ「ねずみ返し付きダブルフラップ」と「アジャスタブルカフス」
 - 袖のバタつきを抑え、バックミラーからの視界を広げる「アジャスタブル」

HS SERIES
RY-355 スーパーウォームブルゾン
 ¥22,000

二層のカーボンコーティングで冷気をカット



- 素 材●【表地】カルゼツイル カーボンコーティング
 (ナイロン100%)
 【中綿】ポリエステル100%
 【裏地】ナイロンタフタ カーボンコーティング
- カラー●レッド、ブラック、パープルネイビー、シルバー
 サイズ●W、M、L、X、3
- 裏地に高性能素材を使用する「2W CARBON COATED SHELL」を採用。表と裏に二層のカーボンコーティングにより、冷気と輻射熱をシャットアウトする。また首元には着脱式のロングネックウォーマーを標準装備し、防寒機能のさらなる向上を実現した。冬のツーリングにはベストチョイスのウィンターブルゾン。
- 【その他の特徴】
- 「別売りチタンベスト」の装着で、防寒性をさらに向上
 - 袖のバタつきを抑え、バックミラーからの視界を広げる「アジャスタブル」
 - 水や冷気の侵入を防ぐ「アジャスタブルカフス」



TEAM YAMAHA
TY-135 オールウェザーブルゾン
 ¥25,000

ワークスレプリカのオールウェザー



- 素 材●【表地】ナイロンタフター アクリルコーティング
 (ナイロン100%)
 【中綿】ポリエステル100%
 【裏地】ナイロンタフタ
- カラー●レッド、パープルネイビー、ブラック
 サイズ●M、L、X
- ヤマハレーシングチームのレプリカモデルに、全天候機能を備えたオールウェザーバージョンです。デザイン、装備ともに、ツーリングユースを重視して開発しました。

**冬を
 乗り着る**

YAMAHA RIDING WEAR
'95-96
FALL & WINTER

高度な快適性と
 優れたプロテクト機能を備えて
新発売



YAMAHA GLOVE
YL-465
ウィンターレイングローブ
 ¥8,900

シンパテックス採用のヘビーデューティ



- 素 材●【甲】ナイロン100%
 (透湿性カーボンコーティング)
 【掌】アマラ/PVC
 【裏地】ベンベルグ+ウレタン
 【ライナー】フリース/トリコット起毛
- カラー●ブラック、ブラック/パープル、パープル/レッド、ブルー/グリーン
 サイズ●M、L、X
- インナーフィルムに防水性、透湿性に優れたシンパテックスを採用。立体成型フィルムとすることで、操作性とフィルム自体の強度アップを実現しました。

TAKAI GLOVE
**TW-321 レザノヴァウオーター
 プロテクトグローブ** ¥9,800

「低価格・防水」の
 レザノヴァグローブ



- 素 材●【表地】甲革部:レザノヴァ防水フィルム
 【中綿】ウレタン
 【裏地】ベンベルグ
- カラー●ブラック、ブラウン、キャメル サイズ●M、L、X
- ヤマハワークスライダーも使用する素材、レザノヴァを採用した「防水・防寒」の低価格グローブです。レザノヴァは濡れにくく乾きやすい特性を持っており、購入時の風合いが長時間持続します。

JET-ROD
RY-358 JET-RODブルゾン
 ¥22,000

徹底した防寒機能のツーリングシェル

- 素 材●【表地】ヘビーサテン アクリルコーティング
 (ナイロン100%)
 【中綿】ポリエステル100%
 【裏地】チタンタフタ
- カラー●ワインレッド、ティーフ/パープル、オリーブ
 サイズ●M、L、X
- 優れた保温機能に加えて、高いファッション性を兼ね備えたツーリングブルゾン。チタン素材の裏地やロングネックに代表されるように、随所に防寒機能を高める構造を採用しています。また刺繍ワッペンやリフレクターを多用してデザイン性も重視。幅広いお客さまにお選びいただけます。



NEW MODEL

デビュー10年。"ミッドナイトカラー"
イメージを具現化して'96モデル登場

VMAX 1200

10月1日
新発売

メーカー希望小売価格 940,000円

※北海道、沖縄および一部地域を除く。
価格には、保険料、税金（含む消費税）、
登録に伴う諸費用は含まれません。

カラーリング：ブラック2



'85年にアメリカ市場向け輸出モデルとしてデビュー、'90年から国内仕様で登場した「VMAX 1200」が、デビュー10年目にあたる今年、カラーリングを一新して登場します。ニューカラーは「ブラック2」。一昨年'93年の東京モーターショーで参考出品して好評を博した「ミッドナイトカラー」のイメージを再現したもの。「VMAX 1200」が、また新しいビッグバイク市場のトレンドを牽引します。

欧州市場にいいよデビュー TRX850

今春より国内市場に販売の「TRX 850」が、その優れた特色と基本構成をそのままに、'96欧州向けモデルとして登場します。欧州交通環境及びレギュレーションに合わせ、2次減速比の変更（41/17→39/17）、サスペンションセッティングの変更、ラジアルタイヤのパターンと特性の変更、マフラーの仕様変更、シート材変更などを行ないました。



'96欧州市場向けモデル YZF1000R TDM850 TRX850 パリショーにて新登場!

9月29日から10日間にわたり開催される「パリショー」で、欧州市場向け'96ニューモデル、ヤマハ「YZF1000R」、ヤマハ「TDM850」、ヤマハ「TRX850」がデビューします。

新しいフラッグシップモデル誕生 YZF1000R

スーパースポーツの頂点モデルとして、欧州市場で年々の「FZR1000」の後継発展モデル「YZF1000R」が、欧州向け'96モデルとしてデビューします。①最新のスーパースポーツスタイルの具現化、②欧州域外的一般路(=セカンダリーロード/制限速度は国により異なるが80~100km/h)での走りの楽しさの具現化、そして③フラッグシップモデルとしての熟成。これら3要素を高次元でバランスさせました。

クランクケースは現行の「FZR1000」と共通としながらも、原動機系、制動系、吸排気系を一新。軽量新作クランク、軽量鍛造ピストン、新作カムプロフィール、TPS付BDSRキャブレター等の採用で好レスポンスを達成しています。そしてこの1002ccエンジンを「YZF750R」のディメンションを踏襲する新作アルミ製デルタボックスフレームに搭載。さらにφ48正立フロントフォーク、ワンピースキャリア採用のフロントブレーキなどで足回りを充実。

とくに、実用域(80km/h~150km/h)での優れた加速性能、「FZR1000」比較で5%以上の改善を図った優れた空力特性などが身上です。

■'96ヤマハ「YZF1000R」仕様諸元

●全長2085mm ●全幅740mm ●全高1175mm ●軸間距離1430mm ●シート高815mm ●最低地上高140mm ●乾燥重量199kg ●エンジン種類 4サイクル・水冷・DOHC・5バルブ並列4気筒 ●総排気量1002cc ●内径×行程75.5×56.0mm ●圧縮比11.5:1 ●最高出力N/A ●最大トルクN/A ●キャブレター型式BDST38×4 ●始動方式セル式 ●点火方式トランジスター式 ●潤滑方式強制圧送ウェットサンプ ●オイル容量3.5ℓ ●クラッチ型式湿式多板 ●変速機常時噛合式前進5段 ●燃料タンク容量19ℓ ●緩衝方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●ホイールトラベル(前/後)120mm/120mm ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式ディスク ●タイヤサイズ(前)120/70ZR17(後)180/55ZR17



走りのキャラクターと外観を一新 TDM850

'91モデルとして欧州市場に登場以来、特にフランスを中心に高い人気を保っている「TDM850」が、6年ぶりのモデルチェンジでデビューします。

「ユーロ・アルティマン・バイク」を企画コンセプトに開発した'96モデルは、270度クランクの採用とオーガニックフォルム(有機的デザイン形状)の具現化が大きな特徴。外観スタイルから走りのキャラクターまで、そのイメージを一新させました。

270度位相クランク、T.P.S付のBDST38キャブレター、ケース背面のオイルタンク配置などは「TRX850」の特徴をそのまま投入したものの、そのエンジンキャラクターに合わせ、ミッションレシオは3~5速をクロスレシオ化。さらに、ヘッドパイプ位置を5mm後方に移動した新ディメンションや、新設計φ43フロントフォーク(現行φ41)、前後ラジアルタイヤの採用などの相乗効果で、軽快なハンドリングと優れた操縦安定性を達成しました。

スポーツサングラス風の2灯ヘッドライト、新作フェアリング&シート、新作20ℓフェイェルタンク、新作テールカバーなどが、新しいオーガニックフォルムを主張しています。

■'96ヤマハ「TDM850」仕様諸元

(オランダ仕様)

●全長2170mm ●全幅780mm ●全高1280mm ●軸間距離1470mm ●シート高795mm ●最低地上高160mm ●乾燥重量201kg ●エンジン種類 4サイクル・水冷・DOHC・5バルブ並列2気筒 ●総排気量849cc ●内径×行程89.5×67.5mm ●圧縮比10.5:1 ●最高出力N/A ●最大トルクN/A ●キャブレター型式BDST38×2 ●始動方式セル式 ●点火方式トランジスター式 ●潤滑方式ドライサンプ ●オイル容量4.2ℓ ●クラッチ型式湿式多板 ●変速機常時噛合式前進5段 ●燃料タンク容量20ℓ ●緩衝方式(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●ホイールトラベル(前/後)149mm/140mm ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク(後)油圧式ディスク ●タイヤサイズ(前)110/80ZR18(後)150/70ZR17



YAMAHA AD CLIPS



生活のあらゆるシーンにフィットする 都会派の新スポーツセダンは スタイルやデザインにもこだわりがある



これはもう、
スポーツセダンである。

走りどりの、モーターサイクル新ジャンル。
ヤマハマジェスティ250誕生。

YAMAHA MAJESTY 250

¥479,000

YF250●型式4H●
4サイクル・水冷・OHV
CVT付・乗車重190kg
●最高速72km/h
●最高燃費27.2km/l
●全長2060mm
●全幅720mm
●全高1150mm
●座高740mm
●積載量147kg●
●燃料タンク容量17.0L
●リア・フロントディスク
ブレーキ付・フロント
ステップ付●
●ABS付●
●シート・バックレスト
2つ・荷物入れ●
●鍵はキーレス●
●リア・フロントカウル
は取り外し可能●
●燃料タンクに燃料計
表示●●
●ABS付●

マジェスティ FAXインフォメーション ☎03-3225-4123

見る・見られる・いい運転。
バイクでひろがるいい仲間

お客様相談室 ☎0120-090-819

BOXコード 001 全米道 東京陸守 002 東京都中(東京都目黒) 003 神奈川 004 埼玉 005 千葉 006 茨城 007 栃木 008 群馬 009 群馬 010 群馬 011 群馬 012 群馬 013 群馬 014 群馬 015 群馬 016 群馬 017 群馬 018 群馬 019 群馬 020 群馬

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社

*新スポーツセダン*というにふさわしい端正で洗練されたスタイルが、都会的な生活風景にジャストフィットする

8月の新発売以来、瞬く間に数多くのアダルトライダーを魅了したヤマハ『マジェスティ』。

スクーターとしての利便性や乗りやすさと、250ccフルサイズの収納力、ゆとりあるパワーを望む都会人たちの声に、ヤマハらしいスポーティな走りとオトナにふさわしい快適性をプラスして応えた1台です。

洗練されたボディデザインには、こうした機能や性能のすべてが集約され、通勤やビジネスといった実用の場面ではもちろん、街乗り、あるいはツーリングなどのオフタイムユースまで、生活のあらゆるシーンにジャストフィットします。

10月発売の専門誌に展開している広告では、『マジェスティ』の使用用途を想定したいくつかの場面から『ガレージ編』を選びました。

これは、ガレージをオトナのプライベートルームに見立て、忙しい日常にもゆとりを忘れない都会的なライフスタイルを表現したもので、店頭ポスターとも共通するパターン。

実車展示の演出を連動させれば、お客さまの視覚的イメージを、広告から店頭、実車までダイレクトに導くことも可能です。より効果的にご利用ください。